

令和 2 年度事業報告書

1. 宿泊施設の利用状況

2020 年度（2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日）の全施設の延べ宿泊利用者数は 56,121 人と前年同期比 48%、人数で 60,276 人の減少となった。

定員に対する利用率は 33%であるが、新型コロナウイルス感染症対策のために個室需要が拡大し、施設客室定員に対する利用率は 40%となった。

船員及び家族の利用者数は 15,780 人（前年同期比 25%減）、海事関係者は 18,200 人（前年同期比 40%減）で船員・海事関係者合計 33,980 人が全利用者数に占める割合は 61%（前年 44%）と上昇した。なお、一般利用者は 22,141 人（前年同期比 66%減）とナビオス横浜を中心に大幅な減少となっている。

施設整備の支援団体である公益財団法人日本船員福利厚生基金財団の船員宿泊割引制度の利用者数は 10,224 人（前年同期比 1%減）であった。

2. 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う対策措置および施設の状況

- ①緊急事態宣言の発出に合わせ休業 4 月 10 日から 5 月 31 日までナビオス横浜の営業を休止した。
- ②従業員の感染リスク軽減、安全確保を考慮して輪番制を基本とする職員の休業をナビオス横浜、エスカル横浜、エスカル神戸、協会本部にて実施し雇用調整助成金の給付を受けた

以上